



質の高い提案 × 革新的デザイン =
 オフィスを越えた「ワークプレイス」

オフィス営業本部 働き方コンサルティング事業部 / デザイン 山崎 雄大 営業 吉開 智典



最新のノウハウ × 顧客密着力 =
 次世代型スーパー

商環機事業本部 / デザイン 金井 美樹 営業課長 岡前 和文 デザイン 矢谷 萌

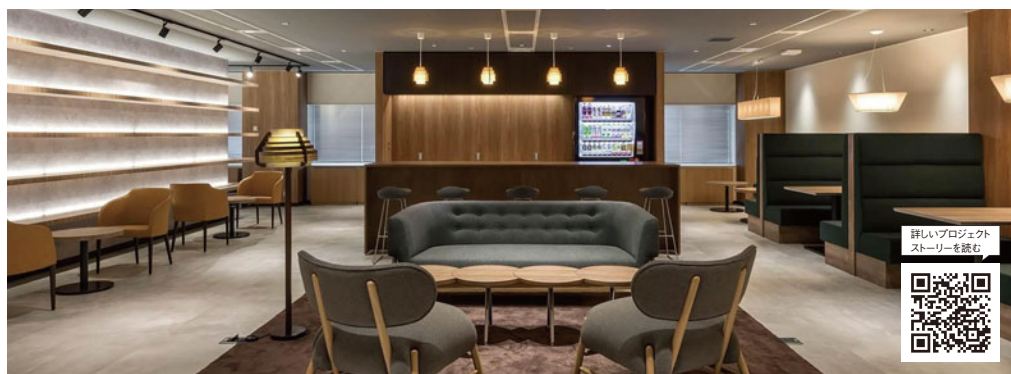


課題把握力 × 高い専門性 =
 企業を救う物流システム

物流システム事業本部 / 営業 池田 真哉 設計 榎原 由貴 設計 澤田 直樹

CASE 1 チームで構想してつくりあげた「クリエイティブで革新的なオフィス」

「オフィス」のあり方が変わってきている。ただ社員が集まって働くための場ではなく、そこで働くからこそ生まれる付加価値があるオフィス。それを体現したのが(株)インタースペースのオフィス増築プロジェクトだ。当初のオーダーは「クリエイティブで革新的なオフィスをつくりたい」という漠然としたものだった。そのイメージを具体化し理想の空間をつくるため、営業の吉開とデザイナーの山崎がそれぞれの視点から意見を出し合い、「ブランドエッセンスを感じられる空間」「多様性に配慮した空間」「生き生きと働ける空間」という3つのテーマを核に定めた。プレゼンテーションの際には建築・内装デザインのビジュアルを丁寧に作り、無事受注することができた。完成したのは、カジュアルで落ち着いたカフェエリアとクールで明るいワークエリアといった性質の異なる2つのエリアがある斬新な「ワークプレイス」。今日もこのオフィスから、今までにないクリエイティブな発想が生まれている。



「Be innovative!」をビジョンに掲げる株式会社インタースペースのオフィス。のれん付き集中ブース、壁一面のライブラリーコーナーなどユニークな空間が特徴。



CASE 2

次世代のオフィスチェアは、会社を超えたプロジェクトチームの連携から生まれた

働き方が多様化すれば、オフィス空間も多様化する。フリーアドレスが進むオフィスにおいて、「誰からも好まれるオフィスチェア」を目指してつくられたのが「Finora」だ。自動車のデザインで有名なイタリアのジウジアーロ・デザインとオカムラのプロジェクトチームが連携してつくりあげたこの椅子は、どこから見ても美しいデザインと高いカスタマイズ性を両立。これからのオフィスに広く必要とされるものになった。



CASE 3 「これまでになく店舗をつくる」遠隔の連携プレーで乗り越えた、大きな挑戦

「次世代の旗艦店となる店舗をつくりたい」。中国地方でスーパーマーケットを展開するフレスタから相談を受けたのは、長年フレスタグループを担当してきた営業の岡前、デザインの矢谷ら中国支店のメンバーたち。建築計画から内外装のデザイン、売り場レイアウトまで、店舗づくりをトータルで企画することになった。その後、デザイン・監修をしたデザイン会社と、最新の情報を有する東京のリテールデザインセンターの金井も加入。岡前・矢谷は日々顧客から要望や課題を吸い上げ、金井が他社の事例や最新のノウハウを共有し、全員で解決策を考え出す日々が続いた。「買い物客からビザを焼く窯が見えるようなビザコーナーをつくりたい」「精肉コーナーのショーケースで生肉を選び、店内で焼き上げた出来立てステーキを提供したい」など顧客からのさまざまな要望に対し、アイデアとノウハウで応えていった。そうして構想から実に3年。買い物しやすいさと楽しさが両立した、かつてない買い物空間が完成。次世代の店舗づくりのノウハウが詰まった店となった。



2019年10月1日にリニューアルオープンしたフレスタ東雲店。オカムラはデザイン監修をしたスパイラルデザイン(株)と、店舗づくりをトータルで手がけた。

CASE 4 顧客が本当に必要としていることは何か? 全員の力を集結し、課題に挑む

物流分野で人手不足が深刻だ。ある大手精密機械器具メーカーも人手不足に頭を悩ませていた。営業の池田はその課題を聞き出し、最先端の倉庫システム「オートストア」を活用した物流業務のオートメーション化を提案することに。しかし椅子や机と違い、物流システムはビジネスモデルによって使い方もそれぞれ。顧客の必要とする機能を正確に把握し、設計することが重要だ。そのため打ち合わせの場では専門用語が飛び交い、非常に多くの知識を要する。だからこそ専門性に長けた設計担当の澤田との連携が不可欠だった。「具体的なレイアウトプランや提案資料の作成、お客様との打ち合わせへの同行など、非常に助けられました」と池田は振り返る。時には設計の澤田が自ら説明を行うなど、連携プレーで無事に注文を獲得することができた。物流システム事業は、顧客の経営に直結する案件も多い。プレッシャーが大きいからこそ、全員で協力して乗り越えたときの達成感もまた、大きいのかも知れない。



ロボットが入出庫を行うロボットストレージシステム「オートストア」。オカムラが2016年に国内で初導入した。